

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 4 月 7 日 (2011.4.7)

【公開番号】特開 2009-268776 (P2009-268776A)
 【公開日】平成 21 年 11 月 19 日 (2009.11.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-046
 【出願番号】特願 2008-123005 (P2008-123005)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 6 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤上に設けられた始動入賞口への遊技球の入賞に基づき所定時間開放することで、遊技盤上に設けられた役物内に遊技球を入賞可能とする開閉部材と、

この開閉部材の開放により遊技球が役物内に入賞し、かつ当該役物内に設けられた V 入賞口に入ることを条件に、遊技盤上に設けられた大入賞口を、選択された回数開閉して前記大入賞口への多くの遊技球の入賞と当該入賞に伴う賞球を可能とする大当たり遊技を制御する遊技制御手段と、

前記大当たり遊技終了後、前記開閉部材を、前記遊技球が前記 V 入賞口に入賞し易い時期に所定時間開放するように制御する遊技球入賞時期制御手段と、
 を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記始動入賞口は、前記遊技球の入賞に伴う抽選の結果に基づき所定時間作動する特別図柄の作動開始条件となる特別図柄始動入賞口を含み、

この特別図柄始動入賞口への遊技球の入賞に基づき前記特別図柄を所定時間作動させる特別図柄表示装置をさらに備え、

前記開閉部材は、前記特別図柄表示装置に停止表示された特別図柄に基づき所定時間開放することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特別図柄表示装置が非作動中以外の状態の時に、遊技球が前記特別図柄始動口に入賞したときに、前記特別図柄表示装置の作動の権利の保留情報を所定の最大個数まで記憶することが可能となる特別図柄メモリ装置をさらに備えていることを特徴とする前記請求項 2 記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技球入賞時期制御手段として、前記役物内に入賞した遊技球を停留させるための停留装置を備え、この停留装置は特別図柄停止確定、若しくは役物の開閉部材の開放を契機として停留を開始し、一定時間後に停留を解除することを特徴とする請求項 1～請求項

3 の何れか 1 項記載の遊技機。

【請求項 5】

前記 V 入賞口が、前記役物内に設置された回転体に設けられた、前記大当たり遊技中において、前記回転体が予め決められた位置で停止し、大当たり遊技終了後、当該停止した位置から回転動作を開始し、遊技球入賞時期制御手段は、役物内に入った遊技球が回転体の V 入賞口に入るように前記停留装置と回転体との作動を制御することを特徴とする請求項 4 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、遊技盤上に設けられた始動入賞口への遊技球の入賞に基づき所定時間開放することで、遊技盤上に設けられた役物内に遊技球を入賞可能とする開閉部材と、

この開閉部材の開放により遊技球が役物内に入賞し、かつ当該役物内に設けられた V 入賞口に入ることを条件に、遊技盤上に設けられた大入賞口を、選択された回数開閉して前記大入賞口への多くの遊技球の入賞と当該入賞に伴う賞球を可能とする大当たり遊技を制御する遊技制御手段と、前記大当たり遊技終了後、前記開閉部材を、前記遊技球が前記 V 入賞口に入賞し易い時期に所定時間開放するように制御する遊技球入賞時期制御手段と、を備えたことを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、大当たり遊技終了後、開閉部材を、遊技球が前記 V 入賞口に入賞し易い時期に所定時間開放するように制御することにより、特に、大当たり遊技終了後（例えば、終了直後）、又は大当たり遊技終了後所定回数（例えば、特別図柄変動装置の作動回数）の遊技において、次の大当たり発生条件を遊技者自身の技量により獲得し易くすることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 3】

ステップ 3 8 0 では、再度、回転体 2 0 6 を原位置へ移動させ停止させて原点位置が維持されていることを確認し、次いでステップ 3 8 4 で停留弁を傾斜樋部 2 1 2 A のパチンコ球 P B の流動領域に配置（突出位置）し、これを維持しておく。